



うしくを語ろう

根本市長とのタウンミーティング

根本市長とのタウンミーティング「うしくを語ろう」が6月29日と7月17日の2日間、市役所の会議室で開催されました。これは、市民と市長とが直接語り合い、さまざまなアイデアをこれからの牛久のまちづくりに活かすことを目的に開かれたものです。牛久シャトーの利活用、牛久駅前活性化、地域・世代間交流への取り組み、子どもたちの遊び場などについて意見を交わしました。



南極・昭和基地からライブ中継

中根小で「南極教室」開催

7月12日に南極・昭和基地と衛星回線を通じてリアルタイムで交信する「南極教室」が中根小学校で行われました。6年生の子どもたちが交信したのは、第60次南極地域観測隊越冬隊員として現地に派遣されている市内出身の松嶋望さん。「南極ではどんな仕事をしていますか」「南極にはどんな生き物がいますか」などの子どもたちからの質問に応える形で教室は行われました。また動画では基地内の居住スペースや食料庫などが紹介されました。関彩音さんは「一年分の食料が置いてあって驚いた。行ってみたい。氷の調査をしてみたい」と話しました。



交通安全キャンペーン

夏の交通事故防止県民運動街頭キャンペーン

7月20日から31日まで実施された「夏の交通事故防止県民運動」に合わせ、7月17日、ひたち野東交差点で街頭キャンペーンを実施しました。小雨の混じるあいにくの天気でしたが、市関係団体を含め約80人が参加。ドライバーや通行人に啓発品を配布し、安全運転や事故防止を呼び掛けました。



省エネを呼びかけ

いばらきエコスタイル

環境に配慮したライフスタイルを実践する県民運動「いばらきエコスタイル」の推進の一環として、7月11日に省エネ街頭キャンペーンを行い、啓発品を配布しながら、省エネへの取り組みを呼びかけました。皆さんも地球温暖化対策として引き続き冷房の適切な使用やエコドライブの実践などの取り組みをお願いします。



手紙を書く楽しさを

市内小学生に「かもめ〜る」寄贈

子どもたちに手紙の温かさや喜びなどを体験してもらおうと、牛久市内郵便局から市内小学生4,799人に暑中見舞い用はがき「かもめ〜る」が寄贈されました。7月12日の贈呈式で古川哲也牛久駅西口郵便局長は、「子どもたちに手紙を書く楽しさを感じてほしい」と話し、滝本副市長は「子どもたちが、相手のことを考える気持が育っていけば」と感謝を伝えました。





「牛久シャトー」創設者 神谷伝兵衛の功績を未来に伝える

神谷伝兵衛の伝記出版にあたり著者が表敬訪問

日本初の本格ワイン醸造施設「牛久シャトー」を創業した神谷伝兵衛の伝記『神谷傳兵衛』を復刻させた愛知県名古屋市在住の味岡源太郎さんが、7月1日に根本市長を表敬訪問し、同復刻本500冊を市に寄贈しました。これを受け市は味岡さんに表彰状を贈呈しました。伝記は1921年に坂本箕山によって書かれたもので伝兵衛の手掛けた事業や交友関係が記録されています。味岡さんは伝兵衛と同じ愛知県西尾市出身であり、「伝兵衛に興味を持つことは牛久市への郷土愛が育まれると思う。功績を多くの人に知ってもらいたい」と伝兵衛に対する思いを語りました。寄贈された復刻本は市内の小中学校に配られる予定です。

また、6月28日には伝兵衛の功績を書いた『奇跡の一代記 神谷傳兵衛物語』の著者、本多徹さんが根本市長を表敬訪問しました。執筆のきっかけは前記、味岡さんの知人を通して依頼を受けたこと。伝兵衛に関する資料を集めていく中、数々の功績を知った本多さんは「牛久市は神谷傳兵衛物語の聖地とも言える。100年先まで伝えてほしい」と話しました。二人の表敬を受け、根本市長は「市として牛久シャトーとともに神谷伝兵衛の功績を永遠に残したい」と応えました。



1



2

1 伝記『神谷傳兵衛』を復刻した味岡さん(写真左から2番目)

2 『奇跡の一代記 神谷傳兵衛物語』著者の本多さん(写真左)



牛久駅東けやき通りは百花繚乱

地域のボランティアで花壇づくり

牛久駅から続くけやき通り沿いは、赤いサルビアや千日紅を中心に季節の花が咲き誇っています。これは、「かみや緑の里親元気クラブ」が神谷行政区の子供会の協力のもと植えたものです。今年は茨城が国体開催されます。市外から訪れるたくさんの人たちの目を楽しませてくれることでしょう。



夏の楽しみ

牛久幼稚園夕涼み会

7月13日に、牛久幼稚園で夕涼み会が行われ、子どもたちと家族が屋台や盆踊りを楽しみました。園児たちは、今年もスペシャルゲストとして現れたラーシクに大喜び。長い梅雨の晴れ間の楽しいひと時となりました。



願いを込めて七夕で飾る

ひたち野うしく七夕フェスタ2019

7月6日に「ひたち野うしく七夕フェスタ2019」を開催。ひたち野うしく駅自由通路には大きな七夕飾りが飾られました。短冊やうちわ作りのワークショップなどのほか、今年には奥野地区の人たちで結成された「おくのキャンパス応援団」が物販コーナーに参加。こうして応援団の皆さんは、資金面でおくのキャンパスの子どもたちの活動を応援しています。

